

上越総合病院耳鼻咽喉科の診療統計と 新病院における診療のご紹介



上越総合病院耳鼻咽喉科
五十嵐良和

4月1日の新病院移転を機会に、
当科の診療統計をまとめました。
さらに新病院施設の一部と移転後の
当科の診療方針をご紹介します。
す。

診療統計

上越総合病院耳鼻咽喉科 外来統計

年度	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17
延べ人数	23,484	14,656	14,353	13,664	13,244	13,929	12,644
実人数	12,627	8,919	8,828	8,832	8,880	9,869	9,180
新患者数	2,601	2,263	2,175	2,120	2,155	2,567	2,187
一日平均 患者数	86	54	53	50	49	51	46
紹介数	未集計	未集計	未集計	104	140	257	168
一人一日 当たり金額 (円)	5,040	6,755	6,568	6,935	7,329	8,168	8,334
外来収益 (千円)	118,360	99,002	94,271	94,755	97,066	113,779	105,193

上越総合病院耳鼻咽喉科 入院統計

年度	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17
延べ人数	714	1,954	2,072	2,108	1,999	2,557	1,917
実人数	90	225	258	260	264	360	261
一日平均患者数	2	5	6	6	5	7	5
平均在院日数(日)	7.9	8.7	8.0	8.1	7.6	7.1	7.3
一人一日当たり金額(円)	15,749	16,929	15,224	16,159	17,159	15,369	18,256
入院収益(千円)	11,245	33,080	31,545	34,064	34,301	39,298	35,964

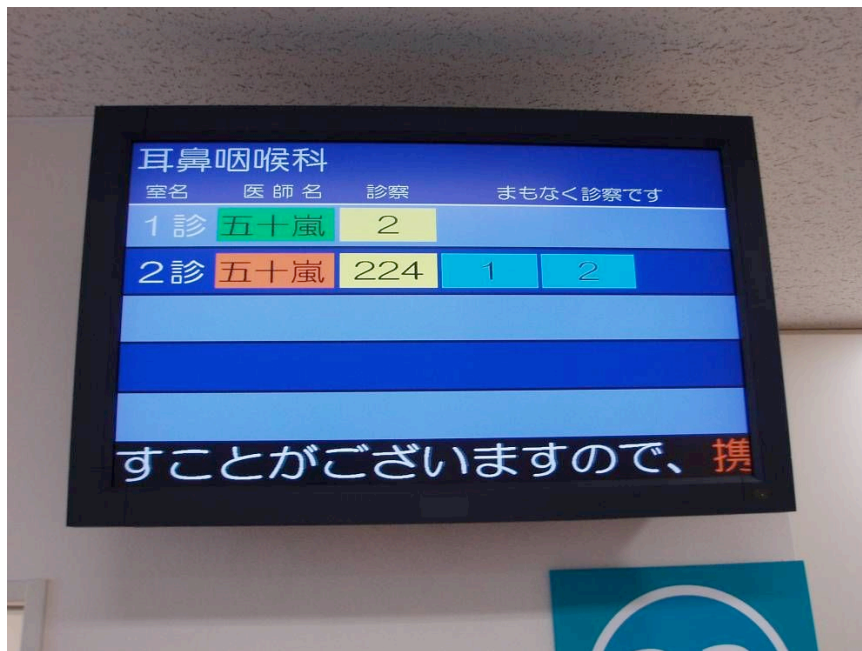
手術件数

		H12	H13	H14	H15	H16	H17
耳	鼓膜チューブ留置術			4	11	24	31
	鼓室形成術			1	1	1	3
	鼓膜形成術	4	6	3	1	2	5
鼻	ESS	61	47	51	38	56	45
	鼻中隔矯正術	6	5	12	9	5	8
	鼻甲介切除術	7	12	40	26	18	18
	ルック法	3		2	1	2	
口腔咽頭	口蓋扁桃摘出術	20	26	40	28	30	30
	咽頭形成術 (UPPP)	2	1	11	10	2	1
	扁桃術後出血止血術			2		2	1
	アデノイド切除術	2	6	7	7	12	12
喉頭	喉頭微細手術	5	4	8	12	12	10
頭頸部	良性腫瘍、嚢胞手術	18	21	14	17	16	21
	頸部郭清術	1					
	気管切開術		1	1			1
	頸部膿瘍切開術						5
	総手術件数	148	142	214	175	199	205
	全身麻酔件数	52	63	84	89	87	95

新病院の施設

外来システム

- ブロック受付（耳鼻科は泌尿器科と一緒に）
- フルオーダーリングシステム
- 表示板による患者呼び出しシステム



1診2診の個室化



1 診の設備



聴力検査室とオーディオメータ



病棟

光と木を豊富に
取り入れています



やっと快適といえる療養環境
をえることができました。

移転後の診療について

時代の流れと耳鼻科に求められることを 思いつくままにあげてみました

高齢化社会の進行	加齢に伴う 嚥下障害、めまい 難聴、味覚障害への対応
SAS（睡眠時無呼吸症候群）のメジャー化	心脳血管疾患の誘引となることが注目され、 循環器、神経内科、脳外科とも協力が必要
ストレス性疾患の増加	トランキライザー、SSRI、PPIによる治療 心療内科的知識の習得
小児中耳炎の難治化 耐性菌の増加	細菌培養・抗生剤感受性データの相互公開 1－2歳児へのチュービング対応
より快適な療養環境、 治療内容への需要	短期入院、診療情報公開と患者用パスの充実 鼻手術以外への内視鏡適応拡大
上越地域全体の需要を 考慮した医療連携	各耳鼻科施設間の綿密な連絡と情報共有 耳鼻科医会として地域への情報提供

新病院での診療方針

1 予約検査と結果報告の充実

○嚥下機能検査（細径電子スコープの使用、

デジタル録画とDVDによる報告）

○SAS検査（PSG検査室増加、他科との綿密な協力）

○聴覚検査（言語聴覚士と高機能オーディオメータの活用）

○平衡機能検査（専門医のレポートを添えた報告、

神経内科、脳外科との綿密な協力）

2 手術室増加に対応

手術可能日の増加

上記に対応するため

午後の一般診療を中止します



まとめ

- 以上、当科の診療データと新病院の設備、治療方針を紹介させていただきました。
- 今後も、各クリニック、病院の先生方と協力して、ともに上越地区の耳鼻科医療発展に貢献したいと思っています。
- できれば、耳鼻科地域医療のモデルとして全国に自慢できるような連携ができればよいと夢見ています。